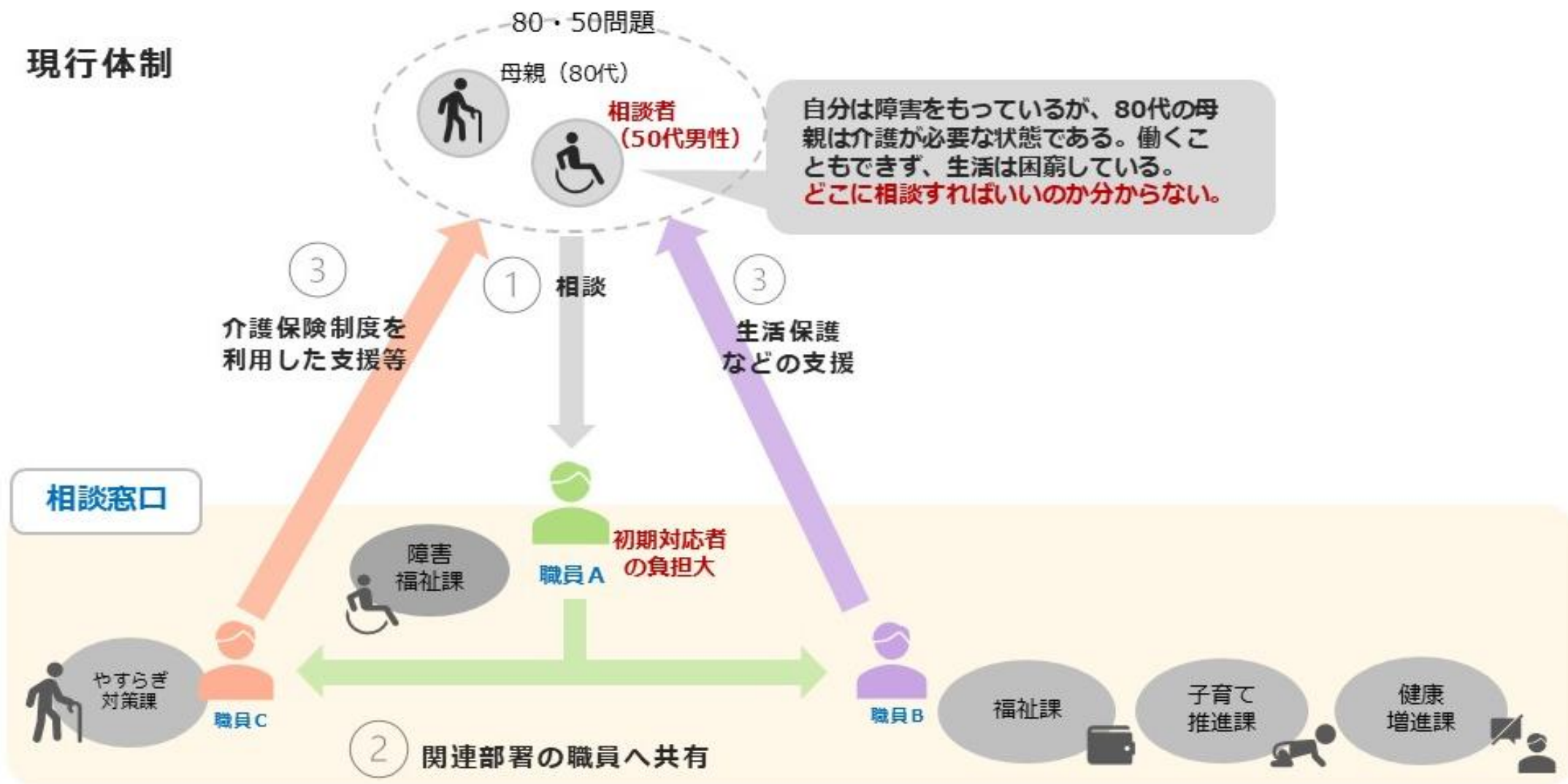


現行体制



相談を受け付けたあとの支援について

各課で、各制度にもとづき支援を行う。各課の担当者が定期訪問等をして、他課への共有は基本的にしていない。重複訪問もある。

対象者の支援が終わった課は、相談者との関わりも終了するので、世帯全体を見る人はいない。

重層的支援体制整備事業

(新体制)

80・50問題

母親 (80代)



相談者
(50代男性)

① 相談

相談窓口

自分は障害をもっているが、80代の母親は介護が必要な状態である。働くこともできず、生活は困窮している。
福祉総合支援センターへ相談しよう。



福祉総合支援センター

相談員

- ・相談受付
- ・内容を整理して各担当に情報伝達

相談を受け付けたあとの支援について

福祉総合支援センター

世帯へのコーディネート

支援内容に応じて他課との調整を行い円滑な支援体制を整える

やすらぎ
対策課

障害
福祉課

福祉課

- ・各担当者と一緒に訪問、面接調査
- ・各個別支援策の調整

④ 伴走チーム

世帯への支援

- 世帯への支援が終わるまで、
継続して各課が情報共有ができる。
- 予防的支援がしやすくなる。

伴走チーム

伴走支援

